

平成23年度 第8回黒石市立小・中学校適正配置検討委員会会議録

招 集 日 時 平成23年7月29日（金）午後1時30分

開 催 場 所 黒石市市役所 3階 庁議室

次 第

1. 委員長あいさつ
2. 答申の素案について

会議における主な意見 ※（○印は委員の意見、→は事務局の回答）

○ こんにちは、大変お忙しい中、また蒸し暑い中ご出席頂きまして誠にありがとうございます。4月20日以来ということになりますが、当初の予定だと6月22日開催の予定だったのですが、議会とぶつかりまして、今日になった次第でございます。ただ、その間5月の幹事会のときに、皆様方から頂いた貴重なご意見を取りまとめる形でほぼ固まったんではありますけど、きちんとした文章として出そうということで、その後幹事会を何回か開催いたしまして、先日送付しました資料となっております。あくまでも素案ということですので、ご意見をさらにいただければと思います。最後までよろしくお願いします。それでは次第に沿って進めさせていただきます。協議事項という事で、答申の素案について事務局のほうからお願いします。

→ （資料に基づき説明）

○ はい。ありがとうございました。続いて資料綴りの説明もお願いします。

→ （資料に基づき説明）

○ ありがとうございました。それでは委員の皆さんからご質問、ご意見を頂きたいと思えます。

○ 小学校の場合は10校から4校に統合するとありますが、どこの学校を指してるんですか。

→ 具体的にその4校と言うのはどこの学校というのではなく、全体的に見て4校程度が望ましいとのことで具体的な学校名はありません。

○ 14ページですけれども、まさに適正配置で統合という所が1番関心をもたれるかと思いますが、統合を進めるにあたって時期の目処を示すのは非常に大切なことと思います。それで14ページを見てですね、標記のしかたが敢えて数字を書いているのもあれば文言で書いているものもあります。その意図あるいは含みなどありましたら教えていただきたいんですが、例えば、（1）の中に「中長期的」恐らくこの長期は11年過ぎてのことだと予想されるのですが、ならば中期はいつごろから10年後なのか、いつからを指してるのかということですか。

ね。それから、文言で色々書いてるのにも意味があるかと思いますが、(2)の適正配置のところには小規模校の解消を図るために速やかに、というこの「速やか」というのとそれから所々にも出てくるんですが、例えば複式学級については早期の解消を図るということで、「速やか」とか「早期」と言うようながあるので、この辺については敢えて数字を載せないほうがよかったのかなと思ってこうしたのかどうか分かりませんが、その数的なものもしあったら教えていただきたい。それから同じ14ページのところになりますが、全くの表現方法なんですが、先ほどの(1)の所に、「しかし、中長期的には～」の次ですが、小規模校の適正規模化。この「化」っていうのは何か意味があるのか。適正規模はしっかり前のページで示されているわけですから、その「化」の意味合いを教えていただきたいということと、適正規模というのは全部統一して良いのではないかと思うのですが、この(2)のほうになると小規模校の解消を図るためにと、こう出てくるのでもう既に適正規模と言うのは示されているのであれば、それに向けて進むとか同じ文言を使ってもいいのではないかと思うのですが、そこには何か意味があるのか、時期的なものと表現について少しお知らせ願えればと思います。

→ 期間に関してなんですけども、長期は確かに11年以降でございます。それまでの0から10年間を短期、中期というような規定はということなんですけども、具体的には短期でまとめる、あるいは中期でまとめるというものの区切りがむずかしい。例えば地域との合意、あるいは新設合併としたときのそれぞれの地域の意見、そういうものがきちんと計画的に盛り込まれるということで、短期なり中期なりの表現を避けて移行期というようにしました。つまり、あくまでも地域やPTA等それぞれの理解をもってきちんと進めていくのが第一条件ということで、敢えて年数は示してございません。それから、「速やかに」とかそうした標記ですけれども、これは出来るだけ速くそして早期の解消、こちら言葉としてはほぼ、同意義的なものでございます。そういうふうに表現のしかたで「速やかに」といったりあるいは具体的に統合の場面では早期の解消ということで文言を標記しました。それから3つ目の適正規模化の「化」は何か意味があるのかということなんですけれども、〇〇委員の指摘どおりむしろ取った方がもっとすっきりするかと思いますので、そこらへんは皆様がよろしければ取ったほうがいいのではないかと思います。

○ 12ページなんですけども、小中学校の適正配置における具体的な方法として通学区域の変更についてとあって、最後に当委員会では取り扱わないこととしたというこのところが、どういう意味で取り扱わないことにしたと言うのか。

→ こちらは、2月23日に第6回の検討委員会での確認事項です。まず、答申書の目標年度についてということが1つ、それから学区の見直しについて確認しています。つまり学区は、市内において非常に複数規模にまたがり、例えば1町内で2つの学校に分かれていたり、そういうところが何カ所かあるんです。ですから、今回適正配置の検討委員会を進めていくうえで、この学区に触れると、色々な学区の見直し作業が複雑に絡んできて、それも検討委員会で審議するにはなかなか困難だということで、敢えて学区は見直ししないということで確認された経緯でございます。

○ それと、今日来れない人でご意見がありました、この方も書かれていますように、14ページの小中学校統合のところで「絶対要件」とするという、この絶対要件ってのは「絶対」

なんですか。

→ こちらのほうに関しては、これまで何度かの委員会を開いてきた段階で、その3つの条件は絶対必要だということから、敢えて絶対という言葉をつけたわけです。

○ このところは、出来ることならもうちょっと柔軟性があるのであればいいのだけでも、絶対要件とするっていうことで、最後までそれが進んだ場合は全て生きて動いていくって事には間違いのないのかなということなんですけど。

○ 我々は教育長に答申をするわけですが、その後の動きとしてのこれがどういう生かされ方をしていくかということだと思います。答申としてのまとめですから、その先までを我々が縛りをかけられるかということを考えればそれは違います。

○ 先ほどの「早期に」と「速やかに」とかを確認したいんですけども、段階的な統廃合をしながら最終的に10年以上かけて中学校2校小学校4校にするという方法にはまちがいないですよ。その「速やかに」とか「早期に」という解消を図るっていうのは、そこもまた段階的に10年もかけるのであれば、なかなか解決されないままに最終的な目標だけに向かってしまうので、「速やかに」はそれほど年数はかけないと思うんですけども、一応委員会として例えば5年以内にこれとこれを解決したいという見通しを持つ必要があるのではないのでしょうか。

→ 「早期」とか「速やか」というのは早い話、長期ではないということです。つまり条件が合ったらということです。

○ ちょっとそれと関連があるのだけれども、複式の場合は「早期に解消」とあるのですが、これを見ますと中期と長期しかなくて、短期が無い訳ですので、短期、中期、長期と分類したらどんなものでしょう。

→ それも先ほど言ったように短期とか中期という言葉をやめて移行期というふうにまとめました。ですから早く条件が合えば2、3年後にも出来るということでございます。

○ 標記上のことですが最後の15ページですね、子どもたちと言う言葉が何回か出てくるのですけれども、子供の「供」が漢字になってる箇所が一箇所、後ひらがなになってるところが多数あってどっちかに統一したほうがいいのでないか、もう1つは2行めの所に事業の中に「さらに」という言葉が2つ使われていますので、どちらか1つを別の言葉に変えたほうがいいのではないかと思います。

→ 「子供」の標記で供は全部ひらがなにしたいつもりがミスです。「さらに」という事で、ここはだぶっていますので、ちょっとこちらのほうはもう一度言葉を検討したいと思います。

→ 今日出席できなかった〇〇委員からの意見と質問の中で、15ページの「子どもたちに責任ある贈り物」「子どもたちへの素晴らしい贈り物」という標記について出ておりますので、審議をお願いしたいと思います。

○ この標記については〇〇委員の思いのような気がしたんですが。

○ 責任ある贈り物だから素晴らしいという意味で、この答申が素晴らしいというふうになっていただく必要がないので、そういうふうにお答えいただければいいのかなと思いますけれども。せっくなので一つだけ一番最初の中長期的については、〇〇委員おっしゃったとおりで、厳しく文章をつめないといけませんね。確かにばらばらしていけないと思います。中長期的とそういう意味ですというふうにはここでは初めて出ることなので、移行期と長期しか出てないふうに意味を取らなきゃいけないというのは文書としては間違いなので、中期を取っただけでいいのかということとそうでもない感じがするので、ちゃんと言葉をつめていかないと。適正化の化は取っていいだろうけれども、やっぱり「速やかに対処」の部分も、小学校の部分と中学校の部分の対比の部分にもなんか適切な言葉をもう少し吟味しないと説明を要するようではやっぱり初見の人によろしくない。私たちは分かりすぎてこうだと思ってしまっているんで、バンバン言って貰いたいというふうに思っていました。

○ 幹事会でもう一度検討し直してもらいたい。まだご発言を頂いてない方から一言ずつ頂いてよろしいですか。幹事の方は、この答申書の中に思いが入っていると思うので、幹事の皆様からは頂かないこととします。

○ 今回は特にないです。

○ 一番最後のところで、「がんばろう黒石」ということなんですが、もうちょっと市民を奮い立たせると言うか元気にさせるような文言が欲しいと思います。

○ 資料を読ませていただいたけど、今日は特になく、ほかの皆さんのまとめを期待しています。

○ 統合という話がもう進んで、みんなに期待を与えているので、10年とかの感じでなくて、出来るのでしたら1年でも早く物事が進んでもらえて、いい学校を造っていけるようになってもらえればいいと思います。

○ ひと通り、ご意見は頂戴したということになりました。今回の答申をまとめるにあたって、これまでの委員会の皆様方からのご意見を充分反映をした形になっていると、我々としては感じております。ただ、文章化に関しましては色々ご指摘を受けまして、ミスが多いということで大変申し訳なく思っています。前回の幹事会で充分やったつもりですが、改めて文章というのは難しいと感じております。今回の委員会はこれで終了とさせていただきます。